



2021年3月期第2四半期決算説明会資料
2020/11/4

免責事項

- 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2020年11月4日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第2四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	16
04	APPENDIX	・・・	23

core assets

AI ENGINE

国内屈指の分析・
コンテンツ自動生成エンジン



CROWD INPUT

大規模なユーザーによる
投稿・閲覧データ



BIG DATA

国内外の
金融経済企業情報



MEDIA

当社のコアアセットである、業界屈指のAIエンジンを活用した自動生成技術と国内最大規模のクラウドインプットを活用したコンセンサス情報生成技術の両輪により高い競争力を維持

SOLUTION

メディア事業で培った知見をB2B（B2B2Cを含む）にも応用。コアアセットで生成される各種コンテンツ・情報に加え、豊富な金融経済企業情報を活用し、金融機関をメインにソリューションサービスを提供

business segment

MEDIA

月間UU数

≒ **900万人**

月間訪問ユーザー数

2,600万人+

独自性の高い投資家向け情報サイトを
国内最大規模で展開

株式市場への注目向上から
若年層を中心にユーザー増が加速

SOLUTION

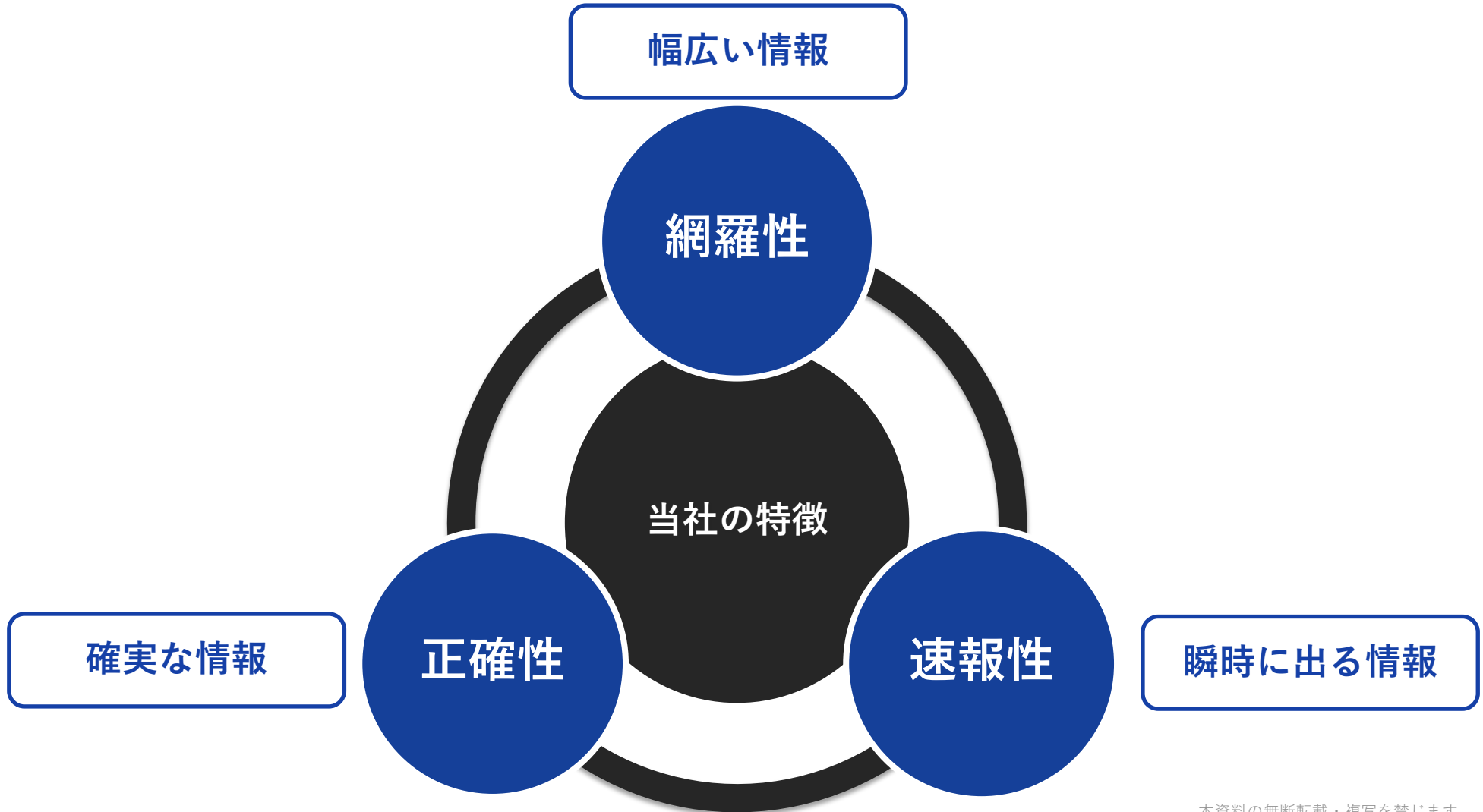
取引会社数

370社+

様々な金融商品の分野で、
主に金融機関向けに情報サービスを提供

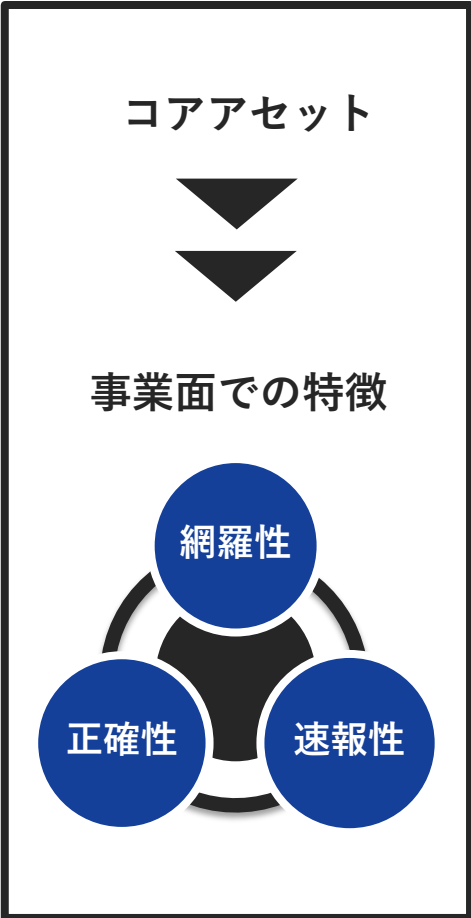
地銀・保険・不動産会社に加え、
REIT運用会社や信託銀行等を新たな顧客層に

strength in service



strength in business

業績面での特徴



再現性

売上高の80%をストック型収入で構成しながら成長

効率性

増収により利益率が向上する効率的なモデル

拡張性

独自の情報技術は金融に留まらず、他分野にも応用

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第2四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	16
04	APPENDIX	・・・	23

earnings results

売上高 6 割増 営業利益 9 割増

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
	第2四半期 (単体)	第2四半期 (単体)	第2四半期 (連結)	前期比
売上高	902	1,103	1,766	+60.2%
営業利益	74	138	262	+89.7%
営業利益率	8.2%	12.6%	14.9%	+2.3ポイント
経常利益	72	133	247	+85.4%
親会社帰属四半期純利益	45	87	131	+49.3%
EBITDA	179	281	501	+77.9%

注1. 2019年3月期第2四半期、2020年3月期第2四半期は連結子会社を有しておりません。

注2. 2019年3月期第2四半期数値は、株式会社東京証券取引所の「有価証券上場規程」に基づき、監査法人の四半期レビューを受けた2019年3月期第2四半期の四半期財務諸表を基に、参考情報として記載しております。

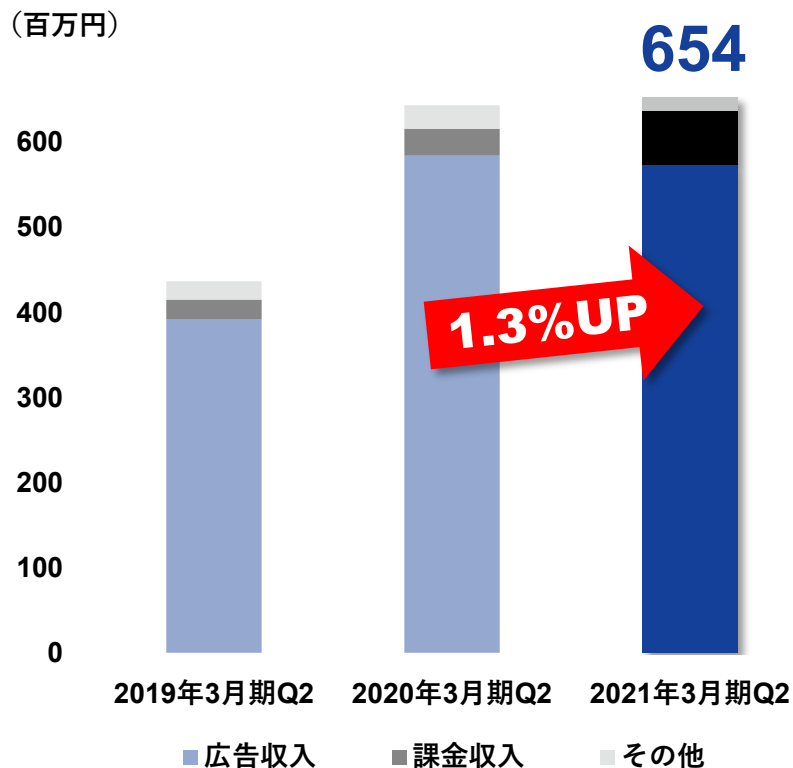
本資料の無断転載・複写を禁じます

Copyright MINKABU THE INFONOID, Inc.

activities - by segments

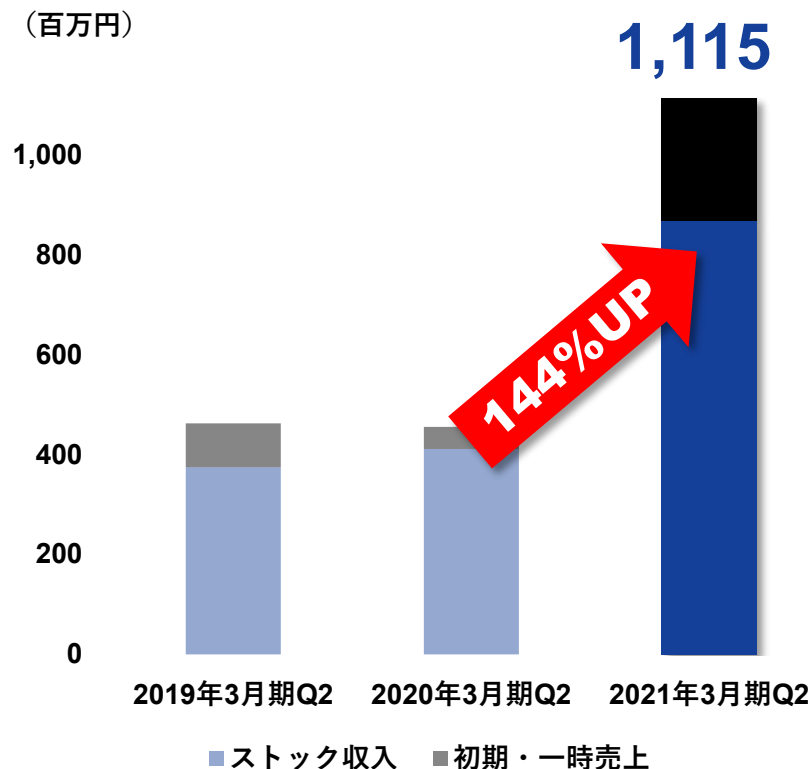
MEDIA

広告はFXサイトが急拡大した前年水準に匹敵し、実質成長を確認。課金収入の拡大が底上げし、前年比微増で着地



SOLUTION

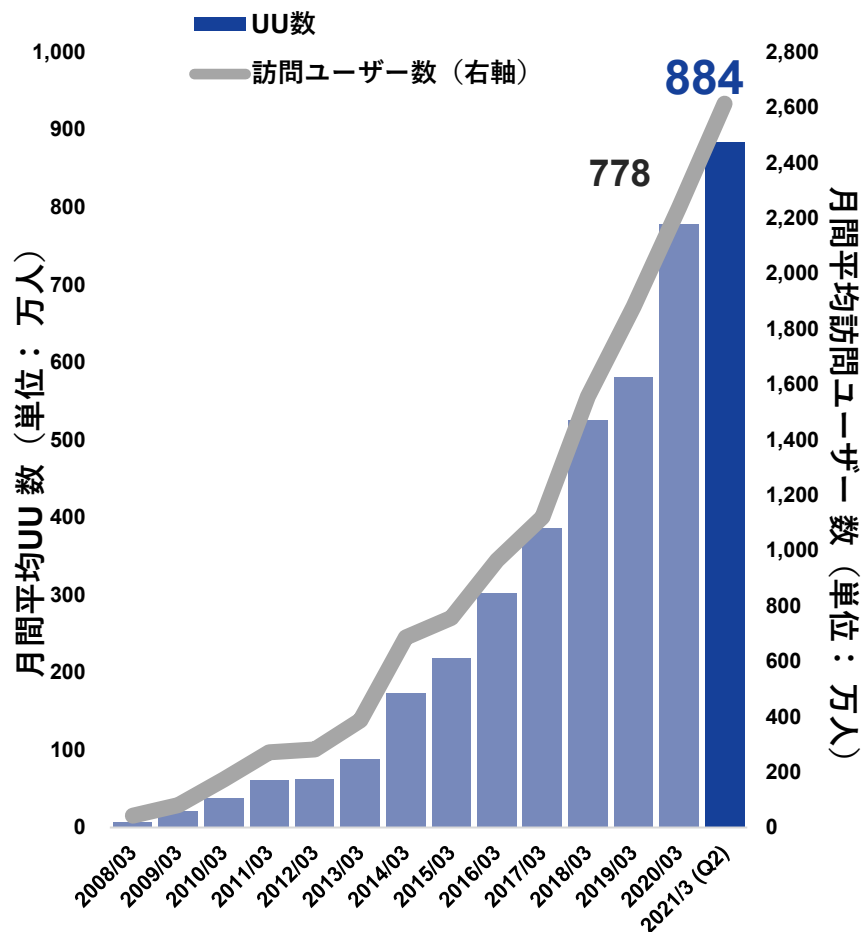
ストック収入の積上りと新規導入の継続により売上高は前年比約2.4倍。PT+も計画通り進捗



注. 2019年3月期第2四半期、2020年3月期第2四半期は連結子会社を有していないため個別数値。
2021年3月期第2四半期は連結数値。

activities - media traffic

Q1の季節性＋新型コロナウイルス感染症による特需一巡後も順調に拡大



- 月間平均UU数は、本決算集中期とコロナ特需が重なったQ1からは減少も、一定数のユーザーを維持し、上期平均UU数は前年比106万人増と伸長
- 『株探プレミアム』は順調に成長を継続。開発中の『みんかぶプレミアム』の投入と合わせ、広告中心のモデルから、サブスクモデルへの移行を目指す

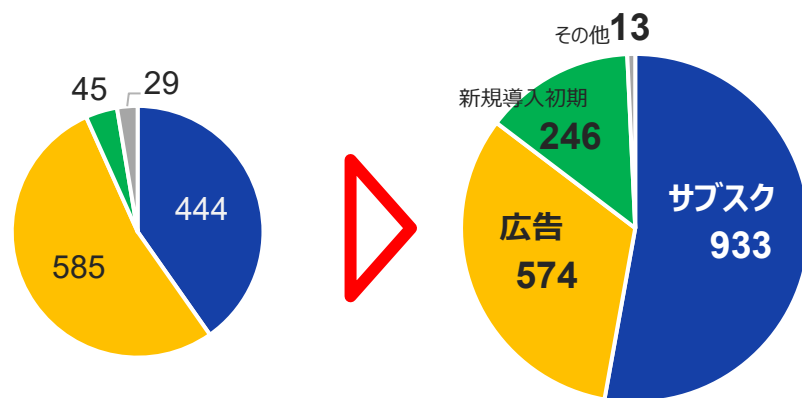
activities - by type of revenue

収益構造の変化：「広告中心」から「サブスクリプション※中心」へ

(※ メディア事業の月額課金収入+ソリューション事業の月額利用料収入)

サブスク比率は**50%超**

百万円

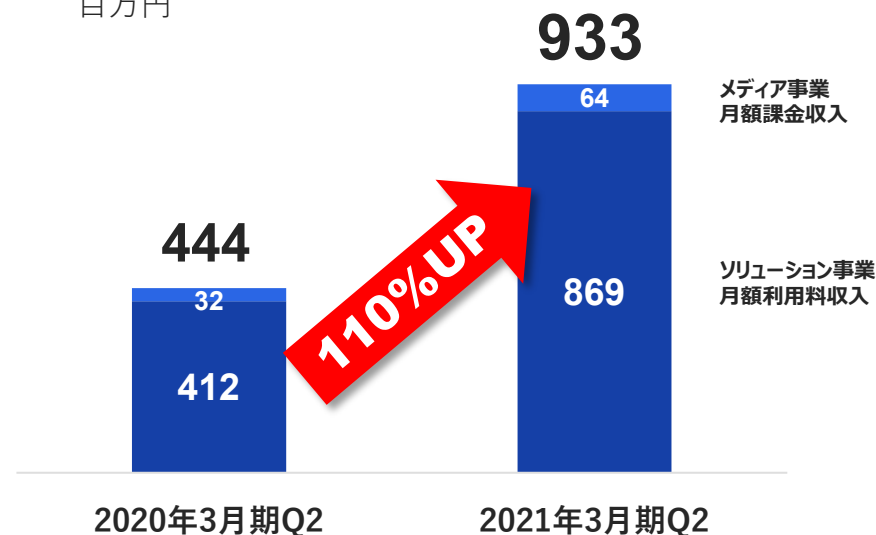


2020年3月期Q2
(売上合計1,103)

2021年3月期Q2
(売上合計1,766)

サブスク売上は前年比で**2倍以上**

百万円



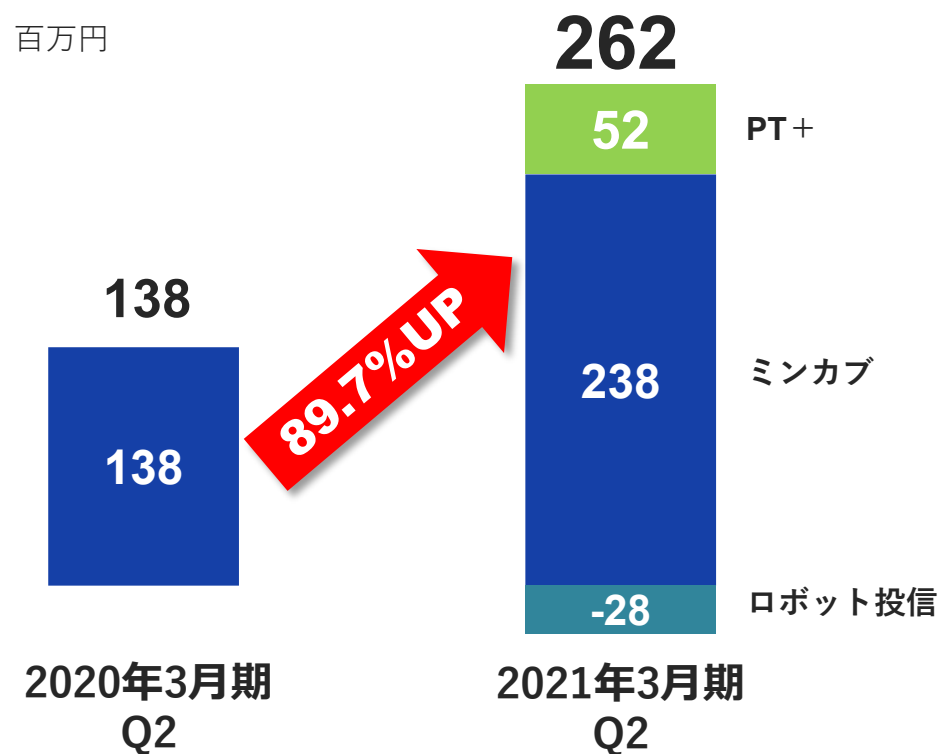
注1. 2020年3月期第2四半期は連結子会社を有していないため個別数値。

注2. 百万円未満四捨五入。

activities - by company

自律的成長にM&A効果も加えて利益伸長

会社別営業利益



- 本体は、新型コロナの影響から、メディア事業で広告収入が不安定なものの、課金収入及びソリューション事業の伸長により成長を継続
- PT+は、計画に沿った順調な成長を継続し、連結利益へ寄与
- 6月末に子会社化したロボット投信は、下期からの黒字寄与を目指し、事業展開中

注. 2020年3月期第2四半期は連結子会社を有していないため、個別数値、連結調整は100万円未満のため省略。
各子会社はのれん、顧客資産等の償却控除後利益

activities - overall

上期は計画どおりに順調に進捗

メディア	広告収入はFXサイトが急伸した前年割れも課金収入の順調な拡大が全体を押し上げ、売上・営業利益とも前年超えて着地
ソリューション	ロボット投信が上期はマイナス寄与も、グループ全体では豊富なプロダクトラインナップで売上・営業利益とも前年比倍増超
費用	コロナ禍での採用活動の遅延等が継続し、費用が圧縮、利益の底上げ要因に

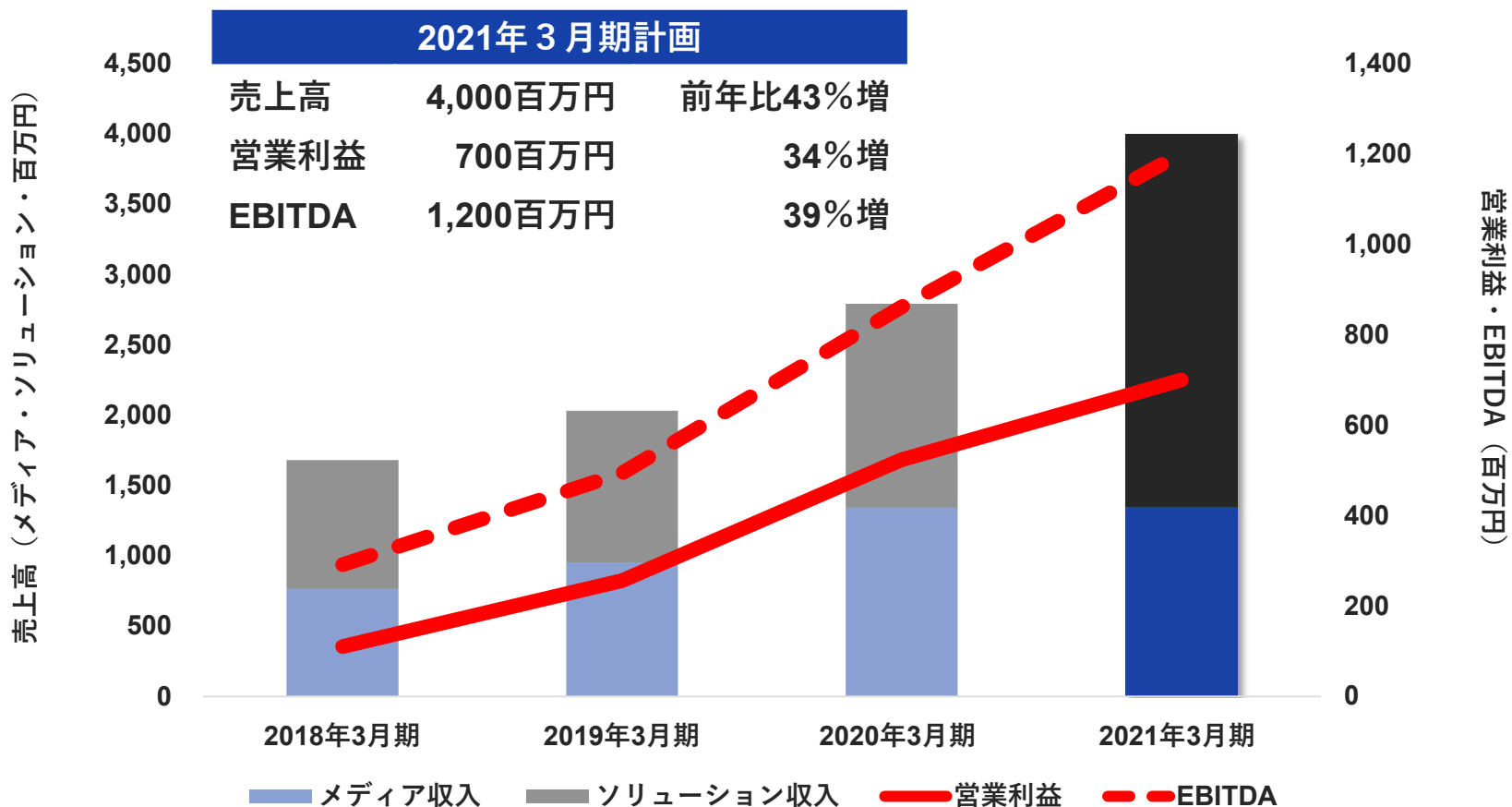
中長期的成長の継続に向けた投資

開発投資	ソフトウェア開発投資は順調に消化
人材採用	コロナ禍で遅延している採用は、通期20名の採用計画に対し、上期は11名
オフィス統合	テレワークの導入と併せ、グループ全社を当社本社ビルに統合。子会社受入のためのレイアウト変更等を実施

01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第2四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	16
04	APPENDIX	・・・	23

forecast

経済環境は依然不透明ながら、通期での増収増益計画を維持



- 注1. 2019年3月期は連結子会社を有していません。
 注2. 2018年3月期は未監査数値。
 注3. 2021年3月期計画にロボット投信の寄与は含まれておりません。

2H-topics

media

『みんかぶpremium』は、年内の『みんかぶTradeWell』投入から順次リリース



➤ 幅広い金融商品をカバーする金融総合情報サービスとして提供。アカウントアグリゲーション機能を有する資産管理ツール「みんかぶTradeWell」が基盤となり、投資家の資産運用をサポート

➤ 「みんかぶPREMIUM」（金融総合情報サイト）、「株探プレミアム」（株式特化型情報サイト）の2本柱でサブスクリプションビジネス本格化へ

2H-topics

solution

Quickとの連携を開始。ソリューション事業の展開を加速

業界スタンダードのQuick端末に当社グループのコンテンツを提供。その第1弾として、ロボット投信の「MINKABU FUND ANALYTICS」「MINKABU ROBOT REPORT」を搭載
Quick端末での訴求力と当社ソリューションサービスの強みを活かし、新たな情報提供サービスを実現



サービス連携

Quickが展開する証券・金融業界スタンダードサービス「Qr1」に、当社グループが提供する各種ニュースやソリューションサービス、REIT情報や投資信託分析ツール等を連携

Qr1に当社グループの独自性の高いアプリケーションを付加することにより、双方のサービスの拡充・拡販を加速

共同開発

Quickが展開するバイサイド向けサービスに、当社グループが持つデータ、コンテンツ、AIエンジン、コミュニケーションエンジンを融合し、バイサイドとセルサイドを繋ぐ新サービスを共同開発

CRM事業化

資産形成の重要度が増す中、多様な金融商品への対応と投資家に資するサービスへの要求が高まる金融リテール業務に対し、Quickの情報ソリューションと当社のAI顧客管理システムを融合する新たなCRMの事業化を検討

2H-topics

solution - AI

AI野球戦評記事からスポーツ情報サービスが本格始動 2021年シーズンに向け、各球団への商用販売を開始

AI × スポーツデータコンテンツ生成の新領域を開拓
全試合を対象に試合後公平戦評の他、試合中戦評や肩入れ戦評、出場全選手の選手評も展開



BIG DATA



AI ENGINE



試合前 x 試合中 x 試合後 x 全試合 x 公平
戦評 x 肩入れ戦評 x 出場全選手評・・・

ピックアップした数試合と少数の選手に
限定された従来型のコンテンツ制作から、
無数の組み合わせが可能に

注. AI野球戦評記事システムは、データスタジアム(株)との共同開発

2H-topics

solution - AI

当社AI技術の利用分野を選挙情報まで拡張

国内最大級の選挙情報事業者と資本業務提携で基本合意

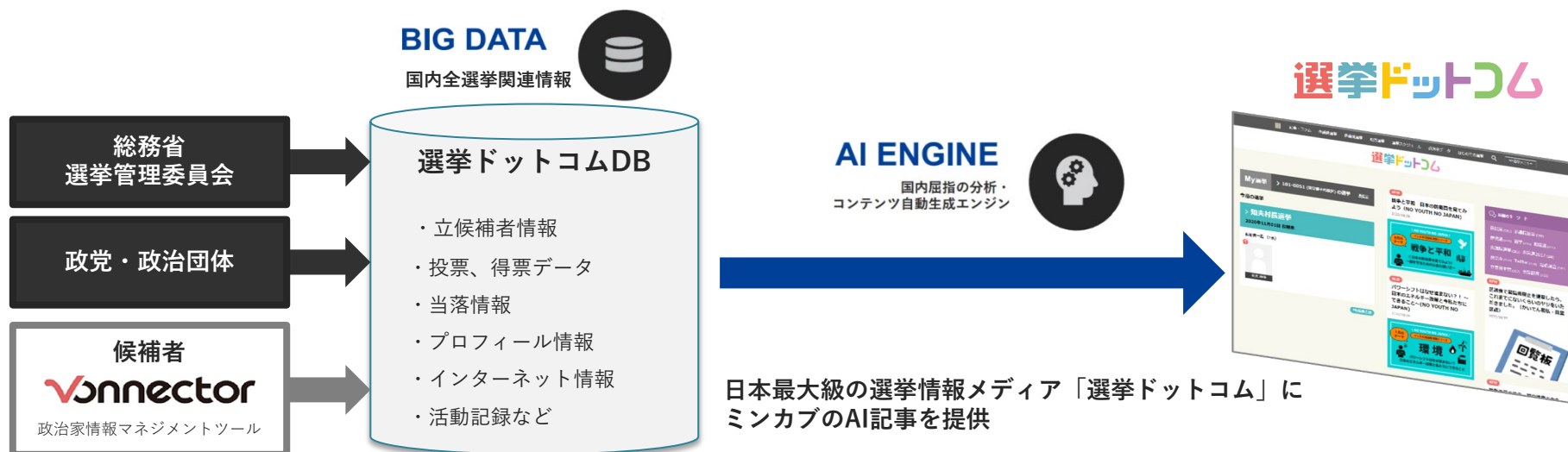
<業務提携>

候補者のプロフィールや政治活動、政策、公約などの膨大な選挙関連情報をミンカブのAIが解析し、政党や候補者を比較し、投票先を選びやすくすることで、選挙情報分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進



<資本提携>

イチニ株の第三者割当増資を受け、同社の14.8%を取得。取締役1名を派遣



総務省
選挙管理委員会

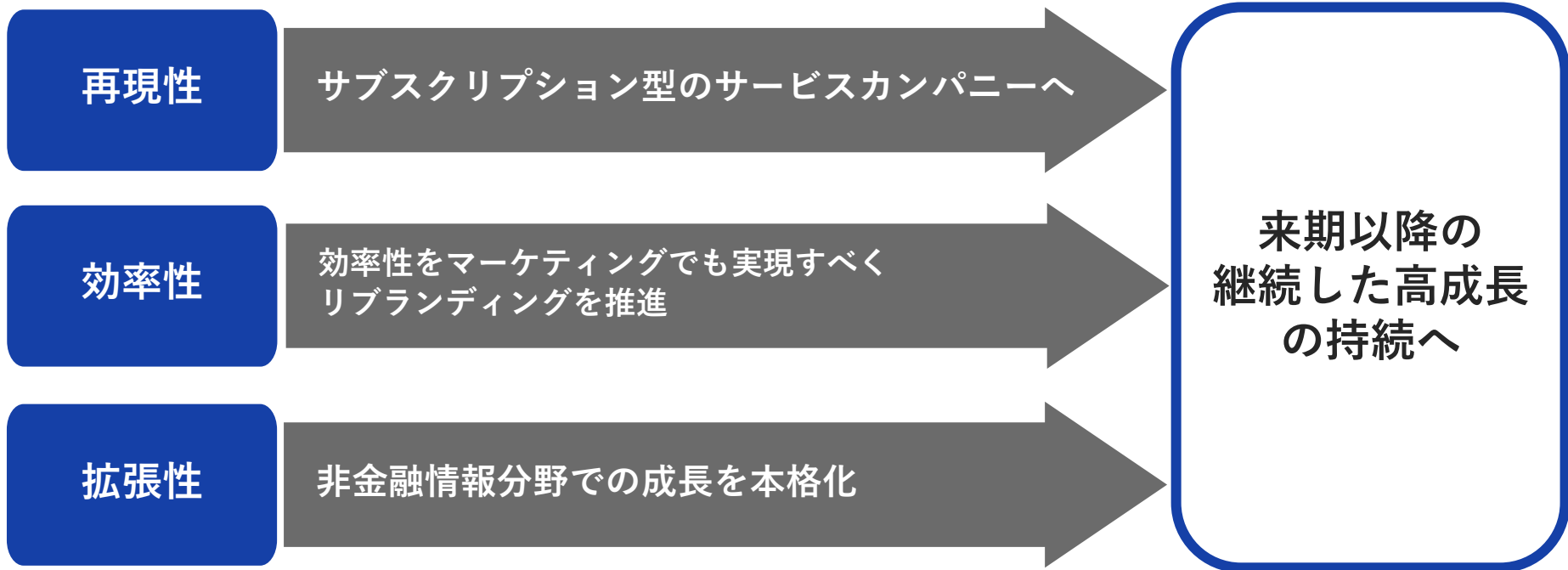
政党・政治団体

候補者
vconnector
政治家情報マネジメントツール



2H-topics

TRANSFORMATION



01	ビジネスモデル	・・・	4
02	2021年3月期 第2四半期実績	・・・	9
03	2021年3月期計画	・・・	16
04	APPENDIX	・・・	23

income statement

(単位：百万円 / %)

	2019年3月期	2020年3月期		2021年3月期 計画		2020年3月期 Q2	2021年3月期 Q2	
	(単体)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(単体)	(連結)	前期比
売上高	2,032	2,790	+37.3%	4,000	+43.3%	1,103	1,766	+60.2%
メディア	953	1,351	+41.7%	1,351	-	646	654	+1.3%
ソリューション	1,078	1,449	+34.3%	2,648	+82.8%	456	1,115	+144.2%
調整額 ※1	-	△ 9	-	-	-	-	△ 3	-
営業利益	256	523	+103.7%	700	+33.8%	138	262	+89.7%
メディア	294	545	+85.3%	545	-	239	250	+4.9%
ソリューション	340	409	+20.2%	654	+59.7%	106	246	+130.8%
調整額 ※2	△ 378	△ 432	-	△ 500	-	△ 207	△ 234	-
経常利益	208	504	+141.9%	680	+34.9%	133	247	+85.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	253	447	+76.8%	500	+11.7%	87	131	+49.3%
EBITDA ※3	494	861	+74.3%	1,200	+39.3%	281	501	+77.9%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※5 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※6 百万円未満切り捨て

balance sheet items

(単位：百万円 / %)

	2019年3月末	2020年3月末	2020年9月末	
	(単体)	(連結)	(連結)	前期末比
流動資産	2,395	2,717	2,387	△12.1%
うち 現金及び預金	2,045	2,063	1,789	△13.3%
固定資産	1,530	3,149	3,587	+13.9%
資産合計	3,926	5,866	5,974	+1.8%
流動負債	958	768	744	△3.1%
固定負債	281	1,327	1,495	+12.6%
負債合計	1,239	2,096	2,240	+6.9%
資本金	1,558	1,742	1,751	+0.5%
資本剰余金	3,581	3,766	3,555	△5.6%
利益剰余金	△ 2,453	△ 2,005	△ 1,874	-
その他	0	10	27	+168.0%
非支配株主持分	-	256	274	+6.9%
純資産合計	2,686	3,770	3,734	△1.0%

※1 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※2 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※3 百万円未満切り捨て

sales by segment

(単位：百万円 / %)

	2019年3月期	2020年3月期		2021年3月期 計画		2020年3月期 Q2	2021年3月期 Q2	
	(単体)	(連結)	前期比	通期 (連結)	前期比	(単体)	(連結)	前期比
メディア事業	953	1,351	+41.7%	1,351	-	646	654	+1.3%
広告収入	862	1,235	+43.3%	1,235	-	585	574	△1.9%
課金収入	50	75	+47.2%	115	+53.7%	31	64	+103.1%
その他	40	40	△0.1%	-	-	28	16	△43.7%
ソリューション事業	1,078	1,449	+34.3%	2,648	+82.8%	456	1,115	+144.2%
ストック収入	782	1,032	+32.1%	2,000	+93.6%	412	869	+110.9%
初期・一時売上	296	416	+40.1%	648	+55.9%	44	246	+450.8%
調整額 ※1	-	△9	-	-	-	-	△3	-
合計	2,032	2,790	+37.3%	4,000	+43.3%	1,103	1,766	+60.2%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 当社は2020年3月期第3四半期末をみなし取得日としてProp Tech plus株式会社を連結子会社化したことに伴い、2020年3月期第3四半期末より連結会社となっております。

なお、みなし取得日を2020年3月期第3四半期末としているため、2020年3月期第3四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第4四半期より損益計算書を連結しております。

※3 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※4 百万円未満切り捨て

fixed expenses

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 計画		2020年3月期 Q2	2021年3月期 Q2	
	(単体)	(連結)	通期 (連結)	増減	(単体)	(連結)	増減
単体	899	1,123	1,317	194	540	585	44
人件費	577	645	732	87	318	321	3
オフィス・インフラ・租税公課等	84	166	192	26	79	86	6
減価償却費 (原価+販管費)	196	271	352	80	122	157	34
減価償却費 (M&A関連償却費)	40	40	40	-	20	20	-
連結子会社	-	247	996	749	-	435	435
減価償却費	-	6	32	26	-	15	15
減価償却費 (M&A関連償却費)	-	19	76	57	-	45	45
その他固定費	-	221	887	665	-	374	374
連結合計	899	1,370	2,314	943	540	1,021	480

※1 人件費は、給与（法定福利費含む）、雑給、退職給付費用、福利厚生費、採用手数料、旅費交通費（通勤手当含む）の合計

※2 減価償却費（M&A関連償却費）は、のれん、顧客関連資産、技術資産の償却合計

※3 2021年3月期連結計画にロボット投信の業績は含めておりません。

※4 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。ロボット投信の費用は第2四半期（7～9月）から連結子会社へ含めております。



MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている想定、期待、予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。